

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年		1年	
教科等名		国語		グループ名		1グループ	
ねらい		・言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりする。 ・日常生活に必要な身近な言葉が分かり使えるようになる。 ・言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。					
担当教員		○三橋 淳輝 鷲尾 圭介					
年間授業時数		70					
使用教科書		東京書籍「国語☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫	
通 年	【聞く・話す】 ・物語を聞こう	通 年	○	・読み聞かせ ・物語の内容を話す。	・物語に集中する。 ・物語を通して、言葉には物事の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く。 ・言葉をよく聞く姿勢を養う。	・大きめの本や、紙芝居を用意し、イメージしやすくする。 ・分かりやすい内容の動画を用意する。	
	【書く】 ・正しく文字を書こう		○	・枠を意識して文字を書く。 ・名前を丁寧に書く。	・様々な文字を知る。 ・枠の中に収まるように、身近な平仮名、漢字を一つ書く。 ・文字を書くことに興味、関心をもつ。	・平仮名練習アプリを使用する。	
	【読む】 ・物語を読もう			・詩や物語の音読 ・書かれている内容を理解する。 ・読書活動	・物語の登場人物を理解する。 ・はっきり大きな声で音読する。 ・物語に興味、関心をもつ。	・母音の口の動きのイラストを用意し、練習する。	
4	・友達の名前 ・教員の名前	6		・新しい学級の友達の名前や教員の名前を覚える。	・友達の名前や先生の名前を覚える。 ・友達や教員の名前を伝える。 ・名前で呼ぶ意識をもつ。	・ゲームを通して楽しく活動できるようにする。 ・写真を用意しイメージをもちやすくする。	
5 6	・語句と絵を合わせよう	15		・身近な物の名称を平仮名で書く。 ・身近な物の名称とイラストをマッチングする。 ・身近な物の名称を覚える。	・名詞や動詞の理解を広げる。 ・具体物や絵カードと単語・文字カードのマッチングができる。 ・覚えた名称を生活の中で使う意識をもつ。	・なぞり書きから始める。 ・少ない文字数の単語から始める。 ・親しみやすい語句を選ぶ。	
7	・なかまさがし	5		・日常での場面ごとに使う道具を選択する。 ・日用品の近似したものを分類する。	・日常生活に使う物の名称が分かる。 ・どの道具と一緒に使う物なのか、用途や目的が分かる。 ・道具と名称を併せて使う態度を養う。	・絵カードなどを用意し、イメージしやすくする。	
9 10	・様子の言葉	14		・日常的に使用する形容詞を理解する。	・「熱い」「冷たい」「固い」「やわらかい」など、身近な物に対応した形容詞を知る。 ・形容詞をグループに分類する。 ・日常的に形容詞を使う意識をもつ。	・絵カードなどを用意し、イメージしやすくする。	
11 12	・片仮名を読もう ・漢字を読もう ・舞台発表をめざして	13	○	・身近で簡単な片仮名を読む。 ・曜日の漢字を読む。 ・舞台発表に向けてセリフ練習を行う。	・片仮名や漢字に興味をもつ。 ・簡単な片仮名や漢字を読むことができる。 ・場面に応じ、発音や声の大きさを意識して話す。	・ビンゴなどを通して、楽しみながら学習できるようにする。 ・タブレット端末で練習風景を録画し、振り返れるようにする。	
1	・書き初めをしよう	5		・書き初めをする。	・書き初めを知る。 ・筆を動かす感触を楽しみながら、取り組むことができる。 ・自分から書く意識をもつ。	・なぞり書きができるように、下書きを用意する。	
2 3	・マークを探そう	12		・身近なシンボルや標識のカルタをする。 ・校内外のシンボルや標識調べをする。	・日常生活の中のシンボルを知る。 ・日常生活でよく目にするシンボルや標識のマッチングができる。 ・シンボルや標識に関心をもち、進んで探そうとすることができる。	・ゲーム要素を取り入れ、意欲を高める。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年		1年	
教科等名		国語		グループ名		2グループ	
ねらい		・日常生活や社会生活に必要な、「読む」「書く」「聞く」「話す」の基礎的な力を伸ばす。 ・筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いや考えをまとめることができる。 ・言葉がもつ良さに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝えあったりしようとする態度を養う。					
担当教員		○大出 彩乃 古山 隆					
年間授業時数		70					
使用教科書		東京書籍「国語☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫	
通 年	【聞く・話す】 ・正しく聞き取ろう ・感想を伝えよう	通年	○	・物語の内容を理解する。 ・友達の発表を集中して聞く。	・発音や声の大きさに気を付けて話している。 ・話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めている。 ・集中して聞き、伝え合おうとしている。	・挿絵の多い本や映像を用意し、イメージしやすくする。	
通 年	【書く】 ・正しく文字を書こう	通年	○	・正しい形で文字を書く。	・姿勢を整え、文字の形に気を付けて書くことができる。 ・構成に気を付けて書いている。 ・文字の読み書きに関心をもってすすんで取り組んでいる。	・日常生活でよく使われる言葉を中心に学ぶ。 ・姿勢や手の形などを映像に撮って振り返りやすくする。	
通 年	【読む】 ・物語を読もう	通年	○	・物語の音読	・話のまとまりに気を付けて音読することができる。 ・日常生活で必要な語句や文章を読み、内容の大体を捉えている。 ・物語の内容に興味をもち、集中し読もうとしている。	・読みにくい言葉を別途練習する。 ・音読の手本をタブレットを使用して鑑賞する。	
4 5	・自己紹介をしよう ・朗読	10		・教員、友達の話を聞いて、質問に答える。	・身近な大人や友達とのやり取りを通して、自分のことを伝えることができる。 ・相手や目的に応じた話し方で話している。 ・人前で話す態度を養う。	・あらかじめ聞き取るポイントを伝える。	
6 7	・校外学習を振り返ろう	15	○	・校外学習の作文(4Wを意識して)	・主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解している。 ・相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えられている。	・書く内容を具体的に写真などで振り返り、整理してから作文にする。	
9 10	・丁寧な言葉	15		・適切な場面で敬語を使うことができるように、ロールプレイングを行う。	・普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。 ・相手や目的に応じた話し方で話している。 ・学習したことを日常生活で生かそうとしている。	・日常的に想定できる場面を用意し、提示する。	
11 12	・学習発表会を成功させよう	10	○	・舞台発表のセリフなどを、相手に伝わるように話す。 ・目標を考え、取り組みを振り返る。	・発音や声の大きさに気を付けてセリフを読むことができる。 ・時間の順序や事柄の順序など、内容の大体を捉えている。 ・与えられた役やセリフを、積極的に練習しようとしている。	・タブレット端末で練習風景を撮影し、振り返ることができるようにする。	
1 2	・日本の文化に触れよう ・おすすめの本を紹介しよう	15		・書初め、カルタなどに取り組む。 ・お気に入りの本を見付け、紹介する。	・姿勢や筆の持ち方を意識して書くことができる。 ・文字の構成に気を付けて書いている。 ・日本の文化に親しもうとしている。	・取り組みやすい文字数にし、見本を準備する。 ・手本を示し、分かりやすく説明する。	
3	・1年間のまとめ	5	○	・1年間のまとめの作文や手紙を書き、発表する。	・丁寧な言葉で相手に伝えることができる。 ・経験したことから伝えたい事柄を選び、書く内容をまとめている。 ・1年を振り返り、来年度へつなげようとしている。	・写真などで1年間の振り返ることができるようにする。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年		1年	
教科等名		国語		グループ名		3グループ	
ねらい		・言葉の意味を正しく理解し、場面に応じた正しい使い方を身に付ける。 ・自分の気持ちや意見を言葉で伝えたり、相手の話を正しく聞き取ったりする力を養う。 ・言葉がもつ良さに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝えあったりしようとする態度を養う。					
担当教員		○金子 蓮菜					
年間授業時数		70					
使用教科書		東京書籍「国語☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫	
通 年	【聞く・話す】 ・詩や物語を集中して聞こう ・感想を発表しよう	通年		・物語の内容を理解する。 ・友達の発表を集中して聞く。	・発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。 ・物語を聞いて、話す事柄を思い浮かべ伝えたいことを決めている。 ・集中して聞き、伝え合おうとしている。	・挿絵の多い本や映像を用意し、イメージしやすくする。	
通 年	【書く】 ・正しく文字を書こう	通年		・平仮名、片仮名、漢字をそれぞれの段階で正しい形で書く。 ・簡単な例文づくりをする。	・文字の形や筆順に気を付けて書くことができる。 ・文の構成や語句の使い方に気を付けて書いている。 ・文字の読み書きに関心をもってすすんで取り組んでいる。	・日常生活や職場でよく使われる漢字を中心に学ぶ。 ・タブレット端末で調べ学習をする。	
通 年	【読む】 ・物語を読もう	通年		・物語の音読	・話のまとまりに気を付けて音読することができる。 ・日常生活に必要な語句や文章を読み、内容の大体を捉えている。 ・物語の内容に興味をもち、集中し読もうとしている。	・読みにくい言葉を別途練習する。	
4	・自己紹介 ・正しく聞き取ろう	6		・要点をまとめて発表する。 ・教師、友達の話を聞いて、質問に答える。	・身近な大人や友達とのやり取りを通して、自分のことを伝えることができる。 ・目的に応じた話し方ができる。 ・積極的に人に関わろうとしている。	・記入用紙を準備する。 ・あらかじめ聞き取るポイントを伝える。	
5 6 7	・「いつ、だれが、どこで、なにを」 ・主語と述語の使い方 ・体験したことを書こう	20		・校外学習や日常の作文(4Wを意識して) ・文章の間違い探し	・主語と述語との関係や、接続する語句の役割を理解している。 ・相手に伝わるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ・経験したことを今後に生かそうとする。	・4W記入式のワークシートを準備する。	
9 10	・物語を読もう ・感想文	14		・物語の読解 ・感想文を書き発表する。(図書室の利用方法を知る)	・事柄の順序など、情報と情報との関係を理解できる。 ・情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。 ・読んで分かったことを伝え合い、個々の感じ方に違いがあることに気付く。	・最初に読み聞かせ、読み方のイメージをもてるようにする。	
11 12	・学習発表会を成功させよう	13		・舞台発表のセリフなどを伝わるように話す。 ・目標を考え、取り組みを振り返る。 ・振り返りの作文を書く。	・発音や声の大きさに気を付けて読むことができる。 ・時間の順序や事柄の順序など内容の大体を捉えている。 ・役やセリフを積極的に練習している。	・セリフにラインを引いて見やすくする。 ・カード形式にまとめる。	
1 2	・日本の文化に触れよう	11		・書初め、カルタなどに取り組む。 ・作品を発表する。	・姿勢や筆の持ち方を意識して書く。 ・文字の構成に気を付けて書いている。 ・日本の文化に親しもうとしている。	・取り組みやすい文字数やカルタの数で取り組む。	
3	・1年間のまとめ	6	○	・1年間のまとめの作文や手紙を書き、発表する。	・丁寧な言葉で伝えることができる。 ・経験したことから伝えたい事柄を選び、書く内容をまとめている。 ・1年を振り返り、来年度へつなげようとしている。	・写真などで1年間の振り返ることができるようにする。	

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		中学部		学 年		1年	
教科等名		国語		グループ名		4グループ	
ねらい		・言葉の意味を正しく理解し、場面に応じた正しい使い方を身に付ける。 ・自分の気持ちや意見を言葉で伝えたり、相手の話を正しく聞き取ったりする力を養う。 ・読書や話し合い、発表などを通して進んで交流し、互いを認め合う姿勢を育てる。					
担当教員		○松永 和也 佐野 堅太					
年間授業時数		70					
使用教科書		東京書籍「国語☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫	
通 年	【聞く・話す】 ・詩や物語を聞き取ろう ・感想を発表しよう	通 年	○	・物語の内容を理解する。 ・友達の発表を集中して聞く。 ・友達に聞こえるように話す。	・発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。 ・物語を聞いて、話す事柄を思い浮かべ伝えたいことを決めている。 ・集中して聞き、伝え合おうとしている。	・挿絵の多い本や映像を用意し、イメージしやすくする。	
通 年	【書く】 ・正しく文字を書こう	通 年	○	・平仮名、片仮名、漢字をそれぞれの段階で正しい形で書く。 ・簡単な例文づくりをする。	・文字の形や筆順に気を付けて書くことができる。 ・文の構成や語句の使い方に気を付けて書いている。 ・文字の読み書きに関心をもってすすんで取り組んでいる。	・日常生活や職場でよく使われる漢字を中心に学ぶ。 ・タブレット端末で調べ学習をする。	
通 年	【読む】 ・物語を読もう ・説明文から読み取ろう	通 年	○	・物語の音読 ・文章を読み、指示された内容を理解する。	・話のまとまりに気を付けて音読できる。 ・日常生活で必要な語句や文章を読み、内容の大体を捉えている。 ・物語の内容に興味をもち、集中し読もうとしている。	・読みにくい言葉を別途練習する。 ・タブレット端末で挿絵や映像を用意し、イメージしやすくする。	
4	・自己紹介をしよう ・正しく聞き取ろう	6	○	・要点をまとめて発表する。 ・教師、友達の話を聞いて、質問に答える。	・身近な大人や友達とのやり取りを通して、自分のことを伝えることができる。 ・相手や目的に応じた話し方で話している。 ・積極的に人に関わろうとしている。	・記入用紙を準備する。 ・あらかじめ聞き取るポイントを伝える。 ・撮影をして聞き取りやすさを確認する。	
5 6 7	・「いつ、だれが、どこで、なにを」 ・主語と述語の使い方 ・「校外学習」を振り返って	20	○	・短文の作文 ・文章の間違い探し ・校外学習の作文(4Wを意識して)	・主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解している。 ・相手に伝わるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ・経験したことを今後に生かそうとしている。	・4W記入式のワークシートを準備する。 ・書く内容を具体的に整理してから作文できるようにする。 ・映像を見てイメージをもてるようにする。	
9 10	・物語を読もう ・感想文を書こう	14	○	・物語の読解 ・感想文を書き発表する。(図書室の利用方法を知る)	・事柄の順序など、情報と情報との関係を理解できる。 ・情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。 ・印象に残った部分を発表したり、感想を述べたりし個々の感じ方に違いがあることに気付くことができる。	・最初に読み聞かせ、読み方のイメージをもてるようにする。 ・具体的な挿絵などを見ることで、話の流れや内容を分かりやすくする。	
11 12	・学習発表会を成功させよう	13	○	・舞台発表のセリフなどを伝わるように話す。 ・目標を考え、作文などで取り組みを振り返る。	・発音や声の大きさに気を付けて、伝えることを意識して読むことができる。 ・時間の順序や事柄の順序など、内容の大体を捉えている。 ・自分の気持ちや意見を伝えようとしている。	・セリフにラインを引いて見やすくする。 ・カード形式にまとめる。 ・撮影をして自分の様子を確認する。	
1 2	・日本の文化に触れよう ・本の紹介をしよう	11	○	・書初め、カルタなどに取り組む。 ・作品を発表する。	・姿勢や筆の持ち方を意識して書くことができる。 ・文字の構成に気を付けて書いている。 ・日本の文化に親しもうとしている。 ・おすすめポイントが、相手に伝わるようにまとめて発表する。	・取り組みやすい文字数やカルタの数で取り組む。 ・映像で書き順や視覚的に分かりやすくする。	
3	・3年生を見送ろう ・1年間のまとめ	6	○	・卒業のメッセージを作る。 ・メッセージカードを作り、気持ちを伝える。	・丁寧な言葉で相手に伝えることができる。 ・経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容をまとめている。 ・1年を振り返り、来年度へつなげようとしている。	・声の大きさやタイミングを、視覚支援する。 ・絵などの映像でカードの見本を具体的に示す。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。